

## 越境 EC 事業を展開するインアゴーラ

### 中国大手 EC プラットフォームの天猫国際に越境モデルの日本酒類専門店を出店

～中国消費者に多種多彩な日本酒を愉しんでいただくために～

「ショッピングに国境はない」をスローガンに、中国消費者向け日本商品特化型越境 EC プラットフォーム「豌豆（ワンドウ）」を運営するインアゴーラ株式会社（代表取締役 CEO：翁 永胤 所在地：東京都新宿区 以下「インアゴーラ」）は、2021年3月30日（火）より、中国大手 EC プラットフォームの天猫国際上に、新たに越境モデルの日本酒類専門店「豌豆越境酒水店」を出店いたしました。これまで天猫にて一般貿易モデルの「豌豆酒水店」を出店・運営してまいりましたが、このたび、中国消費者により多くの種類に富んだ日本酒を体験していただく機会を提供するために、越境モデル店の開設にいたしました。中国の輸入制度において、一般貿易の手続きを経て中国消費者に販売するモデルが主流で、その際の煩雑な輸入手続きと手続き期間の長さ、および、中国の商標取得などハードルが高かったのに対して、越境モデルでは、日本の商標のみでよく、手続きの簡略化と手続き期間の短縮により、容易に日本酒の展開が可能となります。さらに、インアゴーラが培ってきた冷蔵管理の仕組みを導入したことにより、高品質を保ったまま、中国消費者に多種多彩な日本酒をお届けすることが可能となりました。先般、インアゴーラでは、日本酒の情報を体系的に紹介する日本酒専門 WEB メディアを開発しており、情報発信とリンクした形で、日本酒の素晴らしさに触れた消費者が購入に至る流れをサイクルとして、成長する中国市場で日本酒がより浸透していくことを目指しております。



「豌豆越境酒水店」ページイメージ

財務省が発表した貿易統計によると、2020年の日本酒の輸出額は241億円に達し、前年比0.31%増で、11年連続で増え続けています。特に、中国市場は増加傾向が顕著で、日本酒の輸出額は前年の15.8%増となっています。日本国内の飲食店消費が落ち込む中、中国での日本食レストランの増加を追い風に輸出を伸ばしています。

このように中国で日本酒へのニーズが高まる一方で、オンライン市場へ参画する酒蔵が少ないというのが現状です。人材の不足や、長い間オフラインを主な市場としてきた背景など様々な要因がありますが、大きな要因の一つに、一般貿易の手続きを経る必要があるため、貿易手続きの煩雑さや手続きに要する時間の長さ、そして、中国国内での商標取得義務などの参画ハードルの高さが起因しています。

このたび、インアゴーラは、新たに越境モデルの日本酒類専門店「豌豆越境酒水店」を、中国大手 EC プラットフォームである天猫国際にも出店する事となりました。この越境モデルでの出店により、これまでの課題であった貿易業務の煩雑さや商標の問題を解決し、時間的ロスなく出品を行えます。図1のように、インアゴーラは、これまで、日本企業で唯一の日本酒類に特化した一般貿易モデルの「豌豆酒水店」を天猫にて出店・運営しており、日本各地の日本酒類を豊富に取り揃

# Inagora

え、中国のお客様へ販売してきたノウハウと中国大手 EC プラットフォームでの運営実績があります。加えて、当社独自の冷蔵物流システムを構築したことにより、日本倉庫から、中国のお客様にお届けするまで、高い品質を維持したままの輸送が可能となり、美味しい日本酒を中国のお客様にお楽しみいただくことが可能となります。つまり、各酒蔵様は日本で流通している商品と同じように弊社の日本倉庫に納品するだけで、一気に中国市場での販売が可能となります。第一陣として、花の舞酒造や酔鯨酒造など 5 社のテスト販売を 3 月 30 日のリリースと共に開始しており、以降、順次拡大し、既存のお取引先様や新規の酒蔵様の合計 30 社から販売を開始してまいります。インアゴーラでは、出品における越境業務をワンストップで提供可能なスタートアッププログラムをご用意しております。



図1 インアゴーラにおける日本酒越境事業ストラクチャー

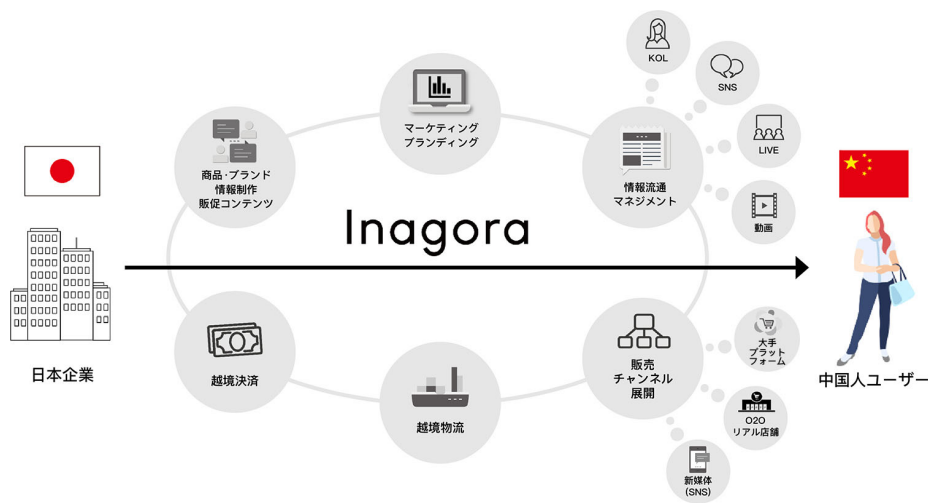
インアゴーラは、今後もより多くの日本商品を中国のお客様に紹介し、日本の商品とライフスタイルを楽しんでいただく場をお届けします。

# Inagora

## ■Inagora 株式会社 概要

本社所在地 : 東京都新宿区市谷本村町 1 丁目 1 番住友市ヶ谷ビル6F  
会社設立 : 2014 年 12 月 15 日  
代表取締役 CEO : 翁 永颯  
URL : <https://inagora.com>

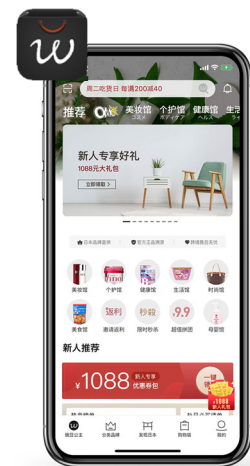
「ショッピングに国境はない」をスローガンに、日本の優れた商品やサービスをインターネットを通じて中国向けに展開する越境 EC 事業、および上記に伴うコンテンツ制作、物流、海外マーケティング、など複合的な付帯事業を行っています。インアゴラは、日本企業が海外進出を検討する際に必ず課題となる「情報の越境」「物流の越境」「決済の越境」のすべてを解決する、ワンストップソリューション型の B to B to C 越境 EC プラットフォーム「豌豆 (ワンドウ) プラットフォーム」を運営しています。商品の翻訳、物流、決済、マーケティング、顧客対応、他チャンネル展開などの全工程を担うことで、日本企業と中国消費者間の文化的ギャップを吸収し、日本企業の中国進出をサポートします。日本の企業はインアゴラの日本国内倉庫に商品を配送するだけで、国内 EC ショップを 1 店舗追加するよりも簡単に、巨大な中国市場に進出することができます。



「豌豆 (ワンドウ) プラットフォーム」イメージ

## ■越境 EC アプリ「豌豆公主 (ワンドウ)」概要

インアゴラが自社で開発・運営する越境 EC ショッピングアプリ。中国国内唯一の日本商品に特化した品揃えで、インターネットを通じて中国のお客様に日本の商品やサービスを販売しています。2015年8月のリリース以来流通総額を急速に伸ばしており、取り扱い商品数は中国で既に人気のアイテムから中国ユーザーの認知度が低い商品まで約40,000商品 (2017年11月時点) にのびります。中国消費者に日本商品や企業ブランドの魅力を伝えるため、ブランドストーリーを紹介する動画や、商品紹介ページ・使い方の説明動画、特集記事等を丁寧に制作し、多角的で深いコンテンツを制作・提供できる点が特徴です。



iPhone 版はこちら



Android 版はこちら